

2節 自由主義・ナショナリズムの進展

2

世界の工場 イギリス



- (1) 産業革命を経てイギリスは世界最大の工業国となり、何と呼ばれるようになったか。
- (2) この時のイギリスの女王で万国博覧会を開催した人物。
- (3) 世界が一つの市場という考え方。
- (4) 産業革命を迎えたヨーロッパ各国が、アジアやアフリカなどの諸地域を自国の商品の市場や原料・食糧の供給地にした体制を何というか。
- (5) イギリスでディズレイリーが指導した政党。
- (6) イギリスでグラッドストーンが指導した政党。
- (7) イギリスがこの時に確立した責任内閣制のもと、二大政党による政党政治を何というか。
- (8) 国際的分業の展開で、熱帯・亜熱帯地域では16世紀から砂糖やコーヒーなどの生産で確立された農業を何というか。
- (9) 本国や欧米への輸出品目がごく少数の農産品に偏った経済を何というか。

世界の工場

ヴィクトリア女王

世界市場

国際的分業体制

保守党

自由党

議会制民主主義

プランテーション農業

モノカルチャー経済